

● あるる 2004年8月号 掲載記事 詳細

**Q** 治療した差し歯と歯肉の境目の黒ずみが気になってたまりません。

数年前から前歯に治療した差し歯と歯肉の境目の黒ずみが気になって、他人に歯を見られるのがいやでたまりません。どのような方法で治療することができるのでしょうか(23歳 読者)

**A** 毎月あるるに寄せられる質問や悩みについて市内で開業しておられる先生にお答え頂きました。



この30歳の保険会社勤務の女性は、以前装着した差し歯の黄ばみと歯肉との境目のむし歯を治療するために来院されました。むし歯はかなり進行し、笑うと歯の根もとの黒ずみが目立ちます。また歯肉も炎症をおこして腫れています。



歯と歯肉の境目はケアするうえで一番大事な部分です。細菌のコントロールをしっかりすると、みるみる歯肉の腫れはひき、健康な歯肉にもどりました。歯の周りに健康な歯肉があってこそ白い歯が引き立つのです。前歯をセラミッククラウンで修復しました。この結果、前歯は明るく自然な色調になり、自信を持って大きく口を開けることができるようになり、ステキな笑顔となりました。

### セラミッククラウンの治療概要

プラスチックの差し歯(保険適用)と比較して、透明感があり天然色に近く、生体親和性、適合性がよいなどの特徴があります。短所としては歯を削らなくてはならないことや健康保険適用外のため費用が全額自己負担となることがあげられます。

費用(保険適用外)は1本につき7~10万円程度です。また歯の状態によってはできない場合もあります。すべての歯科医療機関での実施可能とは限りません。まずはお近くのかかりつけ歯科医を受診しそこから専門医を紹介してもらうとよいでしょう。